



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(育成)

**「穴を空けずに出す」という方法が新しい常識
スプレー缶の処分方法変更を提案する**

問 穴を空けずに出すとして富士宮もルール変更をすべきではないか。

部長 必要になる経費、収集方法、処理事業者による事故防止対策等も含め検討していきたい。

市長 前向きに検討していきたい。

要望 事故が発生してからでは遅い。市民の皆様の安全を第一に考えたルールづくりを。

市の災害対応について

問 国、県、地方自治体との連携は。

部長 国や他自治体と連携する場合、県が調整。また、自衛隊の派遣が必要な場合は、市から県に自衛隊派遣を要請。

問 民間団体との連携は。

部長 107の団体と災害時応援協定を締結。

問 災害ごみの受入れ態勢は整っているのか。

部長 災害時の一時仮置場としては、市内11か所を一応候補地として準備している。

市長 いろんな災害の発生状況によって対応できるよう、避難場所の設置に心がけている。

要望 事前の準備から被災後の支援まで対応できる体制づくりを引き続きお願いする。

富士宮市を訪れたい観光施策について

問 市が市内各地の見どころやグルメ情報を発信することが重要と考えるがいかがか。

部長 食の情報に特化した「食のまちグルメガイド」の発行。「富士宮やきそば&フードバレー公式ガイド」を運営し、地元の食材やイベントなど、魅力のあるコンテンツを提供している。

行政手続きをオンライン化することは、市民サービス向上につながると思う

問 市民課、収納課窓口におけるキャッシュレス化の計画は。

部長 令和4年12月1日からクレジットカード、電子マネー、コード決済の全てに対応予定。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(日本共産党議員団)

「富士山麓に違法盛土を許さない」断固とした姿勢をどう示していくのか

問 農地への違法・脱法的な土砂搬入を行う土地所有者と事業者はどう対応するのか。

部長 農地法に基づく一時的な農地転用許可申請を行うよう指導し、指導に従わない場合は、工事の停止・原状回復を命じる。原状回復を講じない場合、最終的には行政代執行となるが、そうならないように、土地所有者への指導を継続していく。

問 周辺自治体との連携強化及び市の断固とした姿勢をどう示していくのか。

副市長 県及び富士市と足並みを合わせて、当市の盛土条例改正を検討している。

市長 人命や家屋への被害が起こらないよう、最後まで徹底的に解決するよう努力する。

コロナ禍、物価高騰、円安で苦しむ市民の暮らしをどう支援していくのか

問 ①学校給食無償化に向けての検討を。
②前年度比30%以上減収の事業者にし独自の支援金制度の検討を。 ③市の会計年度任用職員の賃上げ検討を。

部長 ①国の財源見通しが立つなら、学校給食費無償化を検討する。まずは、市長会を通じて国の財源措置を要望する。 ②一番困っている事業者の意見をしっかり聞いて支援していく。③退職金などの制度は、地方公務員法の趣旨から認められていない。

意見 子育て支援だけでなく、農業や地域経済振興という観点から、学校給食無償化は大きな流れとなっていく。ぜひ、一歩進んだ検討をしてほしい。政府が掲げる「構造的な賃上げ」という観点から、非正規職員の賃上げに取り組んでほしい。

